

「全鍍連」 2021年 4月号 若者から一言

千葉県鍍金工業組合

青年部 会長 瀧澤 一泰 (三幸鍍金(株) 代表取締役社長)

「千葉県鍍金工業組合青年部発足」



千葉県鍍金組合青年部の初代会長を務めさせていただいております 千葉県東金市 三幸鍍金(株) 代表取締役 瀧澤と申します。

組合数の多い県ならば、青年部は引退の年齢にあたる私ですが、福井電化さん、増田工業さん、フッククロームさん、ケーヨーハードさん、佑和工業さんなどの賛同をいただき、2018年に6名で青年部を発足いたしました。

千葉県鍍金組合の中で、20代30代のご息が自社に入るという会社があったタイミングでもあり、今後、その若い世代にバトンをつなぎ、組合の発展につなげられればという思いでした。

私は会社の代表を継いだ2014年から、県の組合、全鍍連の活動に参加をするようになりました。そこでは、30代40代の若い方々が積極的に情報交換等をされ、精力的に活躍されていました。先輩方はもちろん、若い世代の方とも交流をさせて頂くことは、私にとってとても新鮮でした。

青年部を発足した当初、何から始めればいいのかわからない時に、近隣県の青年部の方々が、合同勉強会やゴルフコンペ等に誘っていただきました。とても感謝をしています。

青年部間の交流は、同業、同年代ということで、共通した様々な悩みを相談しやすいです。具体的に「うちはこうしているよ」といった声は、悩みを解消するのにスピード感があります。話やすさから、話題も多岐に渡り、今、自分に足りないことに気付くことも多く、デビューの遅かった50代の私にとって、本当にありがたい会合ばかりです。

最近、より良い情報は共有して、どこの会社にとっても、効率的に活用できるという考えを持つ人が増えていっているのではないのでしょうか。

昨今、労務、財務、承継はもちろん、技術的なことや、排水関係、補助金制度等、様々なことのルールが加速的に変化しています。益々、情報の交換、相談をする機会が欲しいと感じております。青年部の存在を発揮させたいところです。

只今、2月の中旬、緊急事態宣言中で、会議も全て web になっています。想像をこえた得体のしれないコロナというもののおかげで、色々な価値観が変わりました。

Web 会議は、寂しくもありますが、千葉県の中でも田舎の東金（九十九里地区）からの移動のことを考えると、私にとっては便利でありがたく、価値観の変化のひとつでもあります。（懇親会がないのはやはり寂しいです）

今後、このような、時代の変化に対応し、次を担う世代に、今まで築いてきたもので継承すべきこと、新たに築くべきこと、どう発展させていくのかを課題とし、青年部としてはもちろん、千葉県鍍金組合として注力し、お役に立てる活動ができるように、尽力していきたいと思っております。

緊急事態宣言も1か月延長され、本当に3月に解除されるのか、不安な思いです。売上の減少、感染防止対策と、影響は多大であり、本当に1日も早いコロナの収束を願っています。